

たかそう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

2023年発行
第202号

11月号

地域連携症例検討会

耳鼻咽喉科・歯科口腔外科 2～3

耳鼻咽喉科部長 高橋 克昌
歯科口腔外科部長 稲川 元明

診療科紹介

精神科 4

精神科部長 井田 逸朗

病棟紹介

北5階病棟 5

北5階病棟看護部長 岡崎 直子

臨床工学技士 (ME) の紹介

臨床工学技士長 野村 厚至 6

臨床工学技士長 野村 厚至

災害エマルゴ訓練を開催して

庶務係長 佐々木 祐太 7

庶務係長 佐々木 祐太

登録医大会を終えて

地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通 8

地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通

栄養だより 9

医師紹介コーナー 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12～13

外来診療担当表 14～15

院長閑話 16

榛名湖から
眺める
榛名富士

撮影：患者サポートセンター 後藤 雅美

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります



耳鼻咽喉科部長
高橋 克昌

耳鼻咽喉科

鼻づまりを治す手術について、ショートムービーで説明しました。



ちくのう症の治療を3ヶ月続けましたが、いっ
こうによくない鼻づまり、頭重感。夜も熟
睡できない男性でした。副鼻腔の出口は、鼻茸
でふさがれているので、薬で膿を出したくても
出ません。手術でつまった栓を抜くと、どぼっ
と膿があふれてきました。鼻中隔も曲がってい
たので直しました。



耳鼻咽喉科・歯科口腔外科領域疾患 の診断と治療の連携

座長 宮下 元明 先生
(宮下耳鼻咽喉科)



鼻は良くなったけれど、熟睡できないと訴え
ました。もとは100Kg超の体重を、ダイエット
で80Kgまで落としています。それでも咽頭が狭
く、CPAPを導入します。保険適応にいたるま
で、睡眠検査の苦勞について解説しました。鼻
の手術後で、鼻がよく通るため、小さい鼻マス
クがフィットして、快適に寝ています。CPAP
患者の多くが、寝ている間にマスクを外してし
まいます。「鼻づまりが原因のことも多いです」
と、問題提起しました。CPAP導入前に、鼻の
通り、扁桃腺や咽喉頭について、耳鼻科での診
察をお勧めしました。



鼻茸を鉗子で
つまみます。
曲がった軟骨を
取ってまっすぐ
にします。



歯科口腔外科部長

稲川 元明

歯科口腔外科

2023年9月26日に、地域連携症例検討会で報告をさせていただきました。

本検討会でお話しさせていただくのは昨年来2度目です。お話ししたいことはたくさんございましたが、地域の医療機関と連携して患者さんのお手伝いをさせていただいた5症例についてお話しさせていただきました。



症例1 かかりつけ医（耳鼻いんこう科）からのご依頼で、歯の感染による上顎洞炎に対して当院の耳鼻いんこう科と連携して対応しました。手術後は良好に経過観察中です。

症例2 かかりつけ医（内科）からのご依頼で、顔面部の帯状疱疹による皮膚症状が治った後も半年以上継続する神経障害性疼痛にたいして神経ブロック療法を実施しました。治療を開始してから疼痛は大幅に改善され現在は良好に疼痛管理中です。

症例3 抜歯した後の歯肉が腫れて痛むと骨粗鬆症のお薬を常用されている患者さんを、かかりつけ医（一般歯科）からご依頼を受けました。エックス線診では構造の荒い骨が、上顎洞とつながっている様子が観察されました。薬剤関連性の顎骨壊死の診断下に壊死した骨を局所麻酔下に除去したのちは経過は良好です。

症例4 かかりつけ医（矯正歯科）からのご依頼で、上顎後退症と下顎前突症の顎変形症の患者さんに対して、紹介元の矯正歯科と連携して全身麻酔下に噛み合わせの手術を行いました。手術にあたっての全身評価を行い、術前の歯列矯正治療を開始してから手術を行うまでに平均で2年程度を必要とする、比較的長期にわたる連携についてお話しさせていただきました。

症例5 施設に入居されているかたの主治医からの依頼で、お住まいにお邪魔して内視鏡を用いて嚥下機能評価を実施しました。パーキンソン病と認知症をお持ちのかたで頻繁にむせるようになってきており、評価を行うことでこれまでお食べになっていた一口大に刻んだおかずではうまく飲み込めなくなっており、もう少し刻んだものであれば安全に飲み込めることがわかりました。適切な食形態を決定するために、内視鏡を用いて喉の奥をみることは非常に役に立つことをお話しさせていただきました。



今回は特徴的な症例を報告させていただきましたが、当科は通常の外来／手術室業務のほかにも患者サポートセンターにおいて手術を予定されているすべての患者さんの手術前後の口腔機能管理に入院前からかわったり、訪問診療にも力を入れています。セカンドオピニオン外来については口腔外科疾患全般・顎変形症・口腔インプラント・口腔顔面痛等に対応可能です。

専門化された歯科医師5名で、今後とも地域医療に貢献していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。



診療科紹介

精神科

精神科部長 井田 逸朗



総合病院における
精神医療活動という
少し特殊な役割を
担っています

当院の精神科は、一般のメンタルクリニックとは異なる、総合病院における精神医療活動という、少し特殊な仕事を担っております。

当院は、救急科をはじめとする各診療科において、西毛地区のみならず群馬県において広く救急医療を展開しております。その中で、急性薬物中毒や自傷行為が多数搬送されております。この背景にうつ病などの精神疾患が存在することが多く、当科の早期介入と専門医療機関への円滑な転院を支援する必要があります。同時に地域がん拠点病院としての機能を果たす当院においては、がん患者をはじめとする入院患者さんのメンタルケア（せん妄、抑うつ症状、不安症状）を中心に患者さんの療養支援を行っております。その他、すでに精神疾患にて、専門医療機関で療養中の患者さんが体の治療目的で、当院各診療科に入院された場合の、精神科治療薬の管理・指導、コメディカルの皆さんからの相談に応じることで、精神科としての専門性を発揮しております。

このように、地域における精神医療は、メンタルクリニック、総合病院、精神科専門医療機関、専門行政機関と、それぞれ、役割を明確にして、分担し連携していく時代となっており、当科もその一端をになって邁進しております。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



喘息などの
患者さんが
入院されている
呼吸器内科、
呼吸器外科病棟
です



病棟紹介

北5階病棟

北5階病棟看護師長 岡寄 直子

北5階病棟は呼吸器内科、呼吸器外科病棟で、肺がんやCOPD、喘息などの患者さんが入院されています。

呼吸器疾患は、腫瘍、感染症、アレルギー、自己免疫疾患など種類が多く、その中でも「気管支喘息」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」「肺がん」「肺炎」は呼吸器疾患の4大疾患と言われています。感染症の患者さんは陰圧の個室で治療を行い感染拡大しない環境で療養しています。感染症や呼吸器疾患にかかることで「咳が止まらなくて辛い」「呼吸が苦しい」など、日常生活を送るうえで困難が生じ、生命の危機さえ感じることもあります。初めての検査や治療への不安や患者さんの苦しみに耳を傾け、少しでも恐怖心や不安感が軽くなるよう心を込めた看護の提供に努めています。



退院に向けて主治医と話し合い



新人看護師へ呼吸器管理の指導

私たちスタッフは、様々な患者さんと家族の思いに寄り添い、患者さんが患者さんらしく過ごしていくためにはどうすれば良いかを医師や看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、リハビリ、栄養士、緩和ケア認定看護師、呼吸療法認定士とともに精神的苦痛や身体的苦痛に対して援助を考え、少しでも苦痛が軽減できるように努めています。退院後、酸素療法や高カロリー輸液を行う患者さんも多く、そのような場合でも退院後の生活も見据え、本人や家族と一緒に「本人らしく過ごすために必要な事は何か」「不安なことはどんなことか。どうすれば不安が解消されるのか。」などを検討します。家族が患者さんに行わなければならない在宅ケアや処置があれば、家族に説明し安心して自宅療養を支えられるよう丁寧な退院指導を心がけ、支援をしています。退院後も安心して療養し、家族の負担が少しでも軽減できるよう、退院後支援に必要な知識や技術を看護職員が身につけられるようスタッフ教育に努めており、スタッフ自身も意欲的に学んでいます。

急性期から終末期まで様々な患者さんを対象としていますが、入院中も、退院してからも患者さんが患者さんらしく穏やかに過ごしていけるようコメディカルを含めたスタッフ全員で、地域やご家族と連携し支援していきたいと考えています。

臨床工学技士 (ME) について

臨床工学技士長 野村 厚至



生命維持
管理装置の操作や、
医療機器の保守点検を
行ったりする
医療技術者です

臨床工学技士とは、医師の指示のもと、生命維持管理装置を操作したり、医療機器が安全に正しく使用できるように保守点検を行ったりする医療技術者です。当院での臨床工学技士の業務は次のとおりです。



医療機器管理 業務

医療施設の様々な分野で使用される医療機器を、安全に使用できるようにまた、機器の性能が維持できるように保守・点検を行います。また医療機器をMEセンターにて一括管理し、効率的で適切な運用ができるようにしています。

血液浄化業務

当院では維持透析を行っていませんが、緊急透析や維持透析患者さんの術前術後の血液透析、血漿交換等 様々な血液浄化療法を行っております。

人工心肺業務

心臓手術の際、心臓や肺に代わる働きをする体外循環装置（人工心肺装置）を操作・管理します。その装置の周辺には多いときには数十台もの医療機器が同時に使われます。すべての機器の操作や使用前の点検などの仕事を受け持ちます。

手術室業務

手術室には、麻酔器や、電気メスなど医療機器が数多く存在します。手術の内容により使用される機器は多種多様であり、手術が円滑かつ安全に行われるよう、その手術室内のさまざまな医療機器の操作や事前の管理、使用後の点検等を行います。

集中治療業務

呼吸・循環・代謝などの機能を代行する人工呼吸器や持続的血液浄化装置などの生命維持管理装置、補助循環装置（IABP・ECMO）などの操作や管理を行います。

心血管カテーテル 業務

心臓カテーテル検査は心臓病の診断をするための検査方法であり、手術の適応、術式を決定する重要な検査です。臨床工学技士は検査一連の記録装置を操作します。

ペースメーカ ／ICD業務

不整脈に苦しむ患者さんはペースメーカ（PM）、植込み型除細動器(ICD)といった機器を体に植込む手術を行います。臨床工学技士は、そのような機器を取り扱う場面で機器の管理や操作を行います。

災害や事故の際に
迅速かつ冷静に
行動出来るよう
災害エマルゴ訓練を
行いました



災害エマルゴ訓練 を開催して

庶務係長 佐々木 祐太

令和5年9月22日（金）に災害エマルゴ訓練を行いました。今年度は職員約100名が参加しました。



訓練は、令和5年9月22日（金）午後に、高崎総合医療センター近隣で発生した大型バスを含む車両3台の交通事故にて多数の傷病者が発生したという想定で行われました。消防局より災害発生の連絡を受け、災害対策本部の設置、傷病者の受入体制の構築（トリアージ・赤・黄・緑・黒等、各エリアの立ち上げ）を行い、救急搬送やウォークインにて来院された傷病者の傷病の程度を判断し優先順位を決めるトリアージの実施、各エリアへの搬送、治療や手術を経て、入院や転院までをエマルゴ人形を使用し訓練を行いました。最後には、本部長による記者会見の対応訓練も実施しました。

本部長の鯉淵副院長、全体統括の町田救急科部長やインストラクターのDMAT隊員の方々のご協力により、災害医療を振り返ることができ、大変有意義な訓練となりました。今回の訓練の結果を踏まえて、災害対策委員会やDMAT隊員と協力し、災害対応マニュアル等の改訂を行い、全職員にフィードバックしていきます。

高崎総合医療センターでは、災害拠点病院の職員として、急性期災害医療に関する基礎知識を身に付けることを目的として、「急性期災害医療研修（講義）」を年4回、エマルゴ人形を使用した「エマルゴ訓練（図上訓練）」を年1回、外部組織（高崎市、保健所、高崎市広域消防局等）にご協力いただき、実動を主とした「院内災害対策訓練（実動訓練）」を年1回実施しております。

高崎総合医療センターでは、災害や事故により多数の傷病者が発生した際に、迅速かつ冷静に行動し、地域住民の生命を守ることが出来るよう、今後も繰り返し災害訓練を重ねて参ります。



本部長による記者会見の対応訓練

第16回 高崎総合医療センター 登録医大会 を終えて

地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通



2023年10月5日、まさに満を持して、コロナ禍により4年ぶりとなる第16回高崎総合医療センター登録医大会を開催することができませんでした。ご列席頂きました200名を超える地域医療を担う医師の方々、そして当センターから関係された諸兄には、無事に、そして盛況に開催できたことを心より御礼申し上げます。

コロナ禍になる以前より、日本の医療を有機的にかつ適切に対象となる人々に分配していくためには、地域医療連携は

極めて重要な診療プロセスであり、個々の医療機関の長所を活かす上で、また短所を補う上で医療連携は欠かせないものでありました。コロナ禍にあっても、診療提供や、医療連携は機能不全に陥ることなく、必要とされる人々へ医学の恩恵を提供できていたものと感じております。未だ、SARS CoV2は地球上から排除されたわけではありませんが、ワクチンや治療薬の開発、ウイルスの弱毒化、そして人類が100年に1度と言われるパンデミックを経験したことにより学んだ教訓や感染症の知識などにより、感染症法上5類への移行により、一定の終結をみるに至りました。



最近ではさらに、国際的な紛争の勃発による安全保障上の問題やこれに端を発した物価の高騰などの生活上の問題が人々の心を曇らせているように感じております。「安全に安心して暮らせる地域社会の建設」、このために医療をどのように活かしていくのかは、医師のみならず、医療者全員の社会的課題であります。この課題において、医療連携の深化は一筋の光であり、全ての医療人が繋がること

が出来た魔法の杖であると考えております。これからも地域の医療者と共に、限りある地域リソースによって最大限のパフォーマンスを発揮するべく、高崎総合医療センターは地域中核医療機関として歩を止めることなく、地域内連携診療による診療提供を皆様と共に邁進して参ります。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

栄養だより

11月24日は、「和食の日」!

なぜ11月24日が「和食の日」?

皆さんは、2012年12月に「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことをご存じですか?

次世代へと和食を保護・継承していく大切さを改めて考える日として、11月24日を『1 (い) 1 (い) 24 (にほんしょく)』という語呂合わせから「和食の日」が制定されました。



「和食」の4つの特徴

今回は、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食：日本人の伝統的な食文化」とは、具体的にどのような特徴があるのかをご紹介します。

❖ 1 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本は、海・山・里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。また、素材の味わいを生かす調理技術・調理道具が発達しています。

❖ 2 栄養バランスに優れた健康的な食生活

一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは、理想的な栄養バランスとわれています。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿や肥満防止に役立っています。

❖ 3 自然の美しさや季節の移ろいの表現

食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現することも特徴のひとつです。季節の花や葉などで料理を飾りつけたり、季節に合った調度品や器を利用したりして、季節感を楽しめます。

❖ 4 年中行事との密接な関わり

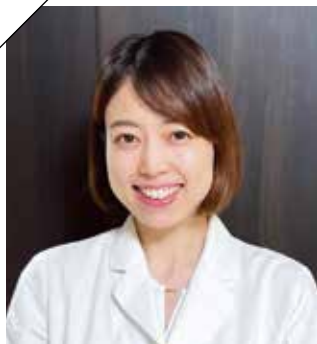
日本の食文化は、年中行事と密接に関わって育まれてきました。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。

近年は多国籍の料理が身近になり、和食を食べる機会が減ってきたという方も多いかと思いますが、11月24日には是非、「和食」を食べてみるのはいかがでしょうか。

和食の日を機に、これまで継承されてきた日本の食文化（郷土料理、地域や家庭の味、箸使いなど）への理解を深め、次世代に繋いでいきましょう。

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



乳腺・内分泌外科

なるさわ えりこ

成澤 瑛理子

乳腺内分泌外科の成澤瑛理子と申します。出身は神奈川県で、群馬大学卒業です。当院で初期研修を行い、先輩に恵まれ群馬に残ることを決意しました。その後1年間群馬大学医学部附属病院に勤務した後、2020年に当院へ戻って参りました。昨年夏に出産し、2023年1月より復帰しております。当科を受診される患者様は、病気そのものの心配だけでなく、仕事や家庭での役割を今まで通り返り続けていけるかなど、様々な不安を抱えていらっしゃると思います。身体的な治療のみならず社会的・精神的側面にも寄り添って診療していきたいと考えています。また、乳癌は早期発見が非常に重要です。ぜひ地域の先生方とともに乳癌の啓発にも力を入れていければと思います。若輩者ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション科

おぎはら ひろし

荻原 博

昨年4月よりリハビリテーション科医師として勤務しております。リハビリ科医師の多くは脳の病気や整形外科的病気が専門ですが、私は外科出身で手術前後の栄養リハビリが専門です。手術前の栄養・運動機能を高めておけば手術合併症や入院日数は減りますが、この活動はプレハビリテーション（手術前のリハビリ）と呼ばれ、近年注目されています。私は一般的なリハビリ医の仕事に加え、この手術前リハビリに注力しております。当院では全身麻酔予定の患者さんには必ず私の手術前診察を受けていただくシステムになっており、私が個人個人の栄養状態・運動能力に応じた指導を行っています。手術前に気分が落ち込み食事量や運動量が落ちてしまう患者さんは少なくないのですが、「これくらいの量を食べてこのような運動もしてパワーを付けて、手術後早くに退院しましょう」と指導を受けると、多くの方が明るい表情になります。

術前に全員に栄養・運動専門医師の診察を行うのは全国で高崎総合医療センター唯一です。私の診察により、少しでも手術患者さんの成績が良くなり退院後末永く元気で幸せに暮らすことができれば、と願っております。

地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

中田医院

院長あいさつ

当院ではカウンセリングに十分な時間をかけ、インフォームドコンセントを大切に患者さんと理解を深め治療することをごまけております。



中田医院
院長
中田 薫



診療科・病院案内

内科・小児科・消化器内科・大腸・肛門外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●※	
午後(15:00~18:00)	●	●	●※	●	●		

※大腸・肛門外科の診療は第2・第4水曜日の午後、土曜日の午前になります。

群馬県藤岡市藤岡640-1 TEL:0274-22-0385

各種検査装置を備え、特に上部・下部内視鏡検査については苦痛の少ない検査を心掛けており、注射や採血は医師が必ず行います。

駒井病院

院長あいさつ

当院の理念「やさしさに会える医療を、やすらぎに会える医療を、そして生きがいに会える医療を」を実践し、高齢者が安心して医療を受けられるよう職員一同努力を重ねていきたいと思ひます。



駒井病院
院長
平松 範行



診療科・病院案内

内科・腎臓内科・人工透析内科・神経精神科 整形外科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
内科 (受付12:00まで) 9:00~12:30	●	●	●	●	●		
整形外科 (受付17:00まで) 14:00~17:00		●					
特殊外来 (要予約) 15:00~17:30	●	●	●	●	●		

群馬県高崎市矢島町449-2 TEL:027-352-6212

長年高齢者医療や透析医療を中心に慢性期病院としての役割を担ってきました。療養病床、地域包括ケア病床を有し積極的な在宅復帰を進めております。近隣の急性期病院や施設からの入院も多く亜急性期病院としての機能も果たしています。精神疾患、認知症の方の受け入れも積極的に行なっています。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳 太田 昌樹 福田 延昭	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般 心不全、弁膜症	金 水 木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	坂元 一郎 家田 敬輔 平井 圭太郎 宮前 洋平	消化器外科全般 上部消化管 肝臓、胆のう、膵臓 下部消化管	水 水 水 水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生 高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科 乳がん全般・甲状腺外科	随時 随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳 神 経 外 科	田中 志岳 笹口 修男 佐藤 晃之	脳腫瘍 水頭症、脳外科一般 血管障害	月 木 金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明 柴野 正康	口腔顔面痛 口腔外科全般、顎変形症、インプラント	火、水、木、金 月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通 飯塚 堯	佐藤 正 通 植原 大 介	(田村 耕 成) 予約のみ	佐藤 正 通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正 通 植原 大 介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正 通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	倉林 理 紗 (植原 正 也)	植原 良 太 倉林 理 紗	渋沢 信 行 午後	渋沢 信 行 植原 良 太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅 美) 午前	平柳 公 利	平柳 公 利 初診のみ 唐澤 将 紀	柴田 真	清水 一 輝
呼吸器内科	中川 純 一 (星野 裕 紀) 午前	細野 達 也 内田 恵	田口 浩 平 小林 頂	中川 純 一 竹村 仁 男	細野 達 也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 午前 安岡 秀 敏 午前 上原 早 苗 午前 相原 幸 祐 午前 (石原 弘) 午後 (廣田 堇) 午後	星野 崇 午前 鈴木 悠 平 午前 佐野 希 望 午前 相原 幸 祐 午前 午前	柿崎 暁 午前 安岡 秀 敏 午前 増田 智 之 午前 増田 智 之 午前 鍋木 琢 也 午前 (石原 弘) 午後 (小林 倫太郎) 午後	長沼 篤 午前 増田 智 之 午前 鈴木 悠 平 午前 古市 望 午前 午前	星野 崇 午前 佐野 希 望 午前 田村 優 樹 午前 (小林 倫太郎) 午前 (廣田 堇) 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌 樹 午前：通常 / 午後：不整脈外来 村田 智 行 午前 瀬田 博 貴 第1, 3週午前	石橋 洋 平 午前 高橋 伸 弥 午前	広井 知 歳 午後：不整脈外来 太田 昌 樹 午前 羽鳥 直 樹 午前	福田 延 昭 午前 高橋 洋 右 第1, 3週午前 千古 良 彩 花 第2, 4週午前	太田 昌 樹 第2, 4週午後：ペースメーカー外来 小林 紘 生 午前：通常 / 午後：不整脈外来 柴田 悟 午前
新患外来 (午前)	高橋 伸 弥	柴田 悟	村田 智 行	羽鳥 直 樹	石橋 洋 平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精神科	井田 逸 朗 山崎 雄 高 午前	井田 逸 朗 山崎 雄 高 午前	井田 逸 朗 山崎 雄 高 午前	井田 逸 朗 山崎 雄 高 午前	井田 逸 朗 山崎 雄 高 午前
小児科	五十嵐 恒 雄 午前 内田 亨 午後 田口 未 奈 午後 前原 孝 午後 (荒川 篤 康) 午前	五十嵐 恒 雄 午後 倉田 加奈子 午前 斎藤 淑 人 午後第1, 2, 3, 5週のみ (神尾 綾 乃) 第4週午後	五十嵐 恒 雄 午前 倉田 加奈子 午後 佐藤 幸 一 郎 午後 (滝沢 琢 己) 第2, 4週午後 <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 午前 植原 実 紅 午後 東野 允 奎 午後 (西澤 拓 哉) 午後 (岩脇 史 郎) 午前	五十嵐 恒 雄 午後 佐藤 幸 一 郎 午後 小笠原 聡 午後第1, 2, 4, 5週のみ (浅見 雄 司) 第3週午後のみ
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一 郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 齊藤 秀 幸 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川 哲 史 午前 星野 万 里 江 午前 小川 哲 史 午前 小川 哲 史 午後	家田 敬 輔 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来 生方 泰 成	平井 圭 太 郎 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 井田 晃 頌 午前	宮前 洋 平 午前：通常 / 午後：下部消化器専門外来 齊藤 裕 紀 乃 午前
栄養サポート外来					
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅 晴 栗原 聰 太 午前	栗原 聰 太 柴田 康 博 午前	交代制	柴田 康 博 午前：通常 / 午後：不妊外来 井上 雅 晴 午前	交代制

01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和5年11月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午前・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 第1,3,5週午前 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 午後 角田彩 午後	中村英玄 午前 角田彩 午後	<手術日> 角田彩 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 上原顕仁 午前 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 岡田悦子 午前 (石川真衣) 第1,3,5週午前	<手術日> 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	笹口修男 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前	佐藤晃之 岡田悦子 午前 上原顕仁 午前
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 塚田蓉子 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (大高建) 午前	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) 午前
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約 柴野正康 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約 交代制 紹介・予約	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」とらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.30

スマホの中の診療所

院長 小川 哲史



世界中で急速に AI やチャット GPT が普及しています。あらゆる分野で革新的な変革が起これと言われており、医療界でも様々な革新が予想されています。私のようなアナログ世代の人間は、急速な IT 分野の進歩と普及、医療 DX の流れに何とか乗り遅れまいと四苦八苦の毎日です。

今年の4月の朝日新聞に「チャット GPT 医学生並みの知能？」との記事が載っていました。その記事によると、特別に医師国家試験用に作られていないチャット GPT が日本の医師国家試験を解いたところ正答率は 55% だったそうで、残念ながらこの時点では合格ラインには達していませんでしたが、研究に参加した医師のコメントでは「適切な文献に基づいて開発すれば遠からず医療現場で使えるようになるだろう」とのことでした。

昭和 60 年、私も国家試験を受けました。20 代半ばで今とは違い記憶力も衰えていませんでしたが、医師の国試は覚えることが多くて大変だった思い出があります。しかし人間と比べて AI のキャパシティはほとんど無限に近いでしょうから、データを与えれば与えるほど飛躍的に進化するのでしょうか。医学生が 6 年間学んだ知識量の国試に合格するなど、チャット GPT にしてみれば朝飯前のことで、今ではより専門的で実践的な臨床応用分野における問題もかなり正確に解けて、米国の医師資格試験や MBA (経営学修士) 試験の合格ラインに達しているそうです。

すでに実際の医療現場で、医療安全や医療の質の向上などに AI を活用した取り組みが始まっています。特に画像診断の分野では、専門以外の医師が見落としやすい異常像の発見などに活用されていて、当院でも胸部 X 線画像や頭部と胸部の CT 画像における AI 診断システムの導入を決めました。今のところは医師に代わって AI だけで診断するのではなく、医師がうっかり見落としやすい病変の指摘や、これまで複数の医師で診断していた画像を、医師と AI の 2 人 (?) で診断するなど、医療安全や医師の業務負担軽減に大いに役立つと考えています。既に専門外の医師よりも正確で迅速な診断が可能なので、そして何より AI には夜間や休日を含め勤務時間に制限はなく、当然来年 4 月から実施される医師の働き方改革も関係ありませんし、こんな便利なツールを使わない手はないですね。

発展途上国はもちろん、日本でも離島や無医村など特に地方における医者不足、医師の偏在は深刻な問題です。米国など先進国でも貧困などにより病院を受診できない人たちがたくさんいます。一人の医師を養成するのは長い年月と莫大な費用がかかりますし、インターネットを使った遠隔医療も広がっていますが、世界中の医療を必要としている人たちに普及させるのは極めて困難で現実的ではありません。そこで期待されるのは生成 AI とチャット GPT が作り出したアバター医師によるスマホの中の診療所です。これこそ医療過疎を解決する切り札、世界の何十億人のまさに福音になると思います。IT を駆使した医療の世界的なニーズは、私たち日本人が考えるよりはるかに高いと思われ、想像よりもずっと早くスマホの中の診療所が実現するような気がします。

これから日本でも日々の健康管理や人間ドック、また発熱や腹痛、下痢など日常的にみられる症状の場合、特に夜間や休日などはスマホ診療所を受診し、そこでチャット GPT が必要と判断した場合には紹介状や診療情報提供書を書いてもらって、現実の病院を受診する。そんなことがもうすぐ実現するかもしれません。さらに将来、スマホの中にバーチャル・リアリティにより作られたメタバース病院が開設され、患者がアバター医師を選んで受診し、「今日は外科のドクター X 大門未知子先生をお願いします！」なんて事が、妄想ではなく現実になるかもしれませんね。

(10月17日)

Information

行事などのお知らせ

第41回地域連携症例検討会

皮膚科・形成外科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2023年12月13日(水)
18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター
皮膚科部長 上原 顕仁
形成外科医長 中村 英玄

対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

第135回カンサーボード

日時：2023年11月30日(木)
18:00～

診療科：放射線科
会場：高崎総合医療センター
大会議室1・2

対象：医療従事者
※申し込み不要

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索

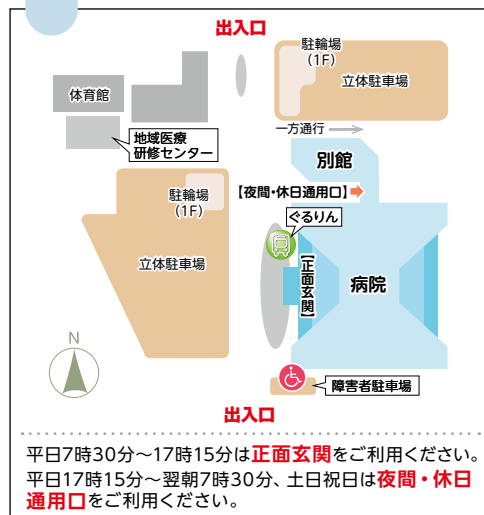


Facebook



Instagram

高崎総合医療センター案内図



平日7時30分～17時15分は**正面玄関**をご利用ください。
平日17時15分～翌朝7時30分、土日祝日は**夜間・休日
通用口**をご利用ください。



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター